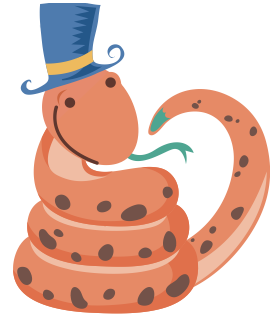


# NEWS

# LETTER



## NO.43

## 2013.4.10

### にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本

〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22

☎078-453-5931

[http://www.geocities.jp/nihongohiroba\\_okamoto/](http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto/)

## 「私の夢」

私たちは誰でも夢を持っていますね。私もそうです。

子どものころ、私は友だちと一緒におもちゃで遊ぶのが好きでした。でも、私のおもちゃはとても壊れやすかったです。そんなとき、父は私のおもちゃを直してくれました。

私の父はエンジニアなので、壊れた日用品は自分で直しました。例えば、冷蔵庫や自転車やテレビなどです。そんな父を見て、私も父のようにエンジニアになりたいと思いました。エンジニアになるためには技術大学に入らなければなりませんでした。大学に入れば私の夢は実現できると思いました。高校を卒業した後、大学入学試験を受けました。合格できて大変うれしかったです。けれども、大学に入ってから技術の専門だけを勉強しても就職することが難しいことを知りました。

専門以外の何を勉強したらいいのだろうと悩みました。そして、その問題を私はクラス担当の先生に相談しようと思いました。先生は「今から日本企業がベトナムにさらに投資してきますから、日本語を勉強したら卒業した後、きっといい仕事を探ることができると思いますよ」とアドバイスをくれました。

それ以来、私は日本語を勉強してきました。言葉だけでなく、日本の文化や日本の歴史や習慣などを習いました。将来、私は有名な会社に勤めたいと思いました。

ベトナムでは大学を卒業した後、就職活動をしますが、就職することは私が思っていたより難しかったです。何回も失敗してしまいました。

そんな時、「あきらめないで将来のために頑張りましょう」と自分自身に言いました。

幸いなことに、面接で日本の企業に選ばれました。すごく嬉しかったです。そして、驚いたことはベトナムではなく日本で働くことになったのです。

私が日本に来てから、皆さんといっしょに働く中でたくさんの言葉が登場しました。外国人にとって日本で働いたり新しい言葉を覚えたりすることはとても大変です。仕事の言葉が分からないときは今でも時々困っています。

今後も新しい知識を手に入れたいと思います。将来、ベトナムに帰ったら技術関係の仕事だけでなく、ベトナム語を日本語に通訳する仕事もしたいと思います。

(チュ ヴァン クオン)

## 学習者紹介

### ★高橋ステイシィさん

(オーストラリア出身)

#### 一人三役のスーパーママ

高橋ステイシィさんとは昨年の暮から勉強をはじめました。

彼女はオーストラリアのメルボルンから日本人のご主人と11歳、8歳、5歳の男の子といっしょに日本にやってきました。NOVAの英語の先生をしながら、子育て、家事と一人で何役もこなしながら頑張っています。

振り返って自分の事を考えると、私も丁度



そんな頃、アメリカにいて同じような経験(私は専業主婦)をした様な気がします。

日本語の勉強にはとても熱心で、彼女自身も先生だけあって、自分から進んで例文を作ったりしています。

なぜ、私と彼女をマッチングしたかと言えば、私と体型が似ているからとコーディネーターの小澤さんは言っていました(笑)。

若いころ、大阪に住んでいたこともあり、大阪のことは私よりもよく知っているし、電車や地下鉄に乗って神戸の奥のほうまで、一人で行けるのがすごいです。そんなわけで、ゆっくり休む間もないと思いますが、日本にいる間はしっかり勉強してたくさん遊んで欲しいと心から思います。(市川邦子)

## 学習者自己紹介

### ★ペク ジョンさん

(韓国出身)

#### チャレンジ・チャレンジ！！

みなさん、こんにちは。わたしはペク・ジョンと申します。韓国人です。日本に来たのは2年前です。うちの主人の仕事のために、結婚してから日本で一緒に今まで住んでいます。日本に来る前には、わたしは日本について関心もなくて、日本語も全然わからなかったです。もちろん、日本文化も知りませんでした。

日本で生活が始まってから、日本語がわからなくて生活するのがとても大変でした。それで、知人に紹介されて日本語学校と、このにほんごひろば岡本で勉強することになりました。日本語の勉強がきっかけで日本文化に興味も持って、日本人の友達も作りたいと考えました。日本語の勉強は難しく、わたしの日本語は上手じゃなくてまだまだですが、親切な先生のおかげで毎日少しずつよくなっています。



日本語を勉強したから昨年の12月に日本語能力試験N3も受けました。わたしにとって漢字がいちばん大変でしたのでN3を受けるとき自信がなかったです。しかし、あきら

めなくてずっと先生と漢字を勉強したり授業が終わっても宿題をもらってうちで勉強したりした結果N3に合格しました。うれしかったです。聴解は先生と十分会話をしたり、テレビを聞くように努力して、もっとよくなりました。にほんごひろばに感謝したいです。ありがとうございます。今年はN2も受けて合格したいです。そのために先生に手伝ってもらってもっとがんばります。

N3は少しだけ努力したら合格できると思います。わたしの場合は模擬試験の問題をたくさんして、間違った問題をもう一度見ました。みなさんも模擬試験の問題を何度もして、N3にチャレンジしてみませんか。

## 学習者・支援者紹介

★ウ ヤンビンさん (中国出身)

☆北川裕子さん

### 水泳だけは苦手

ウ・ヤンビンさんはこの春で、神戸大学海事科学研究科の大学院2年目を迎える留学生です。

中国の大学を卒業後、日本へ来日しました。にほんごひろば岡本には大学院のお友達と一緒に通っています。英語がとても堪能で、週末にはバスケットボールをするのだとか。昔はサッカーをやっていたこともあるそうです。そしてこの冬は長野などでウィンタースポーツにも挑戦したりと、スポーツ万能！笑顔もかっこいい、とっても素敵な好青年です！

そんな彼のちょっと可愛いエピソードを先日教えてもらいました！うさんは大学院では船舶関係のことを勉強しています。したがって水泳が必須スキルだったそうです。スポーツが得意なウ・ヤンビンさん。でも、水泳は苦手だったのです！半年間、毎週水泳の授業を大学院で受けたそうです。その期間は辛かった……と、

うさんは語ってくれました(笑) 普段は英語を使う機会の方が多いのか、日本語の方は、わかるけれど話すのはまだ少し苦手、と言った様子です。ですが、飲み込みが早く、知識も豊富ですので、これからたくさんお話しすれば、もっともっと日本語が上手になるだろうと期待しています！

うさんと私北川は、実は私達は同い年なんです！私は最初若い男の人ということでちょっと緊張していたのですが、歳が一緒で、しかもうさんはとっても親切！（←ここ大事！）今では授業でお話しするのがとても楽しいです！勉強が忙しいうさんですが、勉強だけでなく日本や神戸の素敵な人や場所、文化、たくさんの物に触れて、目一杯楽しい時間を過ごして欲しいです。私も微力ながらそのお手伝いをしていきたいと思っています。



### 【支援者紹介】

こんにちは！私は北川裕子と申します。若く見られたり、大人に見られたり、いろいろな場合がありますが(笑)、今年で24歳になります。

2012年に武庫川女子大学の文学部日本語日本文学科を卒業し、現在はフリーターをしながら「にほんごひろば岡本」でボランティア活動をしています。

私が日本語教育と出会ったのは大学3回生の時でした。日本語日本文学科は3回生から科の中で更にコースが分かれ、私が選択したのは言語系のコースだったのですが、その言語コースの中に日本語教育が組み込まれていたの

す。最初は単位の足しに、ぐらいに思って授業を選択したのですが、いざ授業を受けてみると奥が深く、自分の母語であるというのに、教えるということになると一気に難解なものに見えてきました。ですが、大学4回生の時に韓国で実施された教育実習に参加したことで、異なる文化や慣習、考え方の人達と触れあうことの

楽しさを経験し、日本語支援の素晴らしさを知りました。 まだまだ未熟ですが、これから皆さんのお力をお借りしながら、学習者さんの日本語学習のお手伝いをしていきたいです。どうぞ宜しくお願い致します。

### ボランティア養成講座に参加して

2013/1/26 佐々木五十四

平成24年度 外国につながる子供への”日本語・学習支援ボランティア養成講座”

～ 就学前児童から中学生までの支援を考える～

2回目 『小学生への教科学習支援 ～子どもたちのつまずきから考える～』

講師：大菅佐妃子先生 京都市総合教育センター研究員

『中学生への教科学習支援 ～国語の理解を助けるには～』

講師：佐々木 稔先生 京都教育大学附属桃山中学校教諭

『親の都合で 来たくもない異国の地、日本に来た子供たちが日本語ができず困っている』と聞き 日本語支援をしているボランティアの一人として少しは力になれないかと思いこの養成講座に出席した。当然 自分と同じ初心者が出席しているものと思っていたが、プロと言われるような実際に子供教育の最前線で活動されている方や先生のOBも出席されているのには驚いた。そんなプロたちを前に講師の方は話をされるわけで初心者にとっては多少背伸びした内容もあるように感じた。

講座は現役の先生が用意された内容をパワーポイントで説明されよく理解できた。又今現在現場で働いておられることから いろいろな現状、実際場面が聞け 有意義であった。しかし 逆に説明を聞き支援の難しさへの不安が増したといえるかもしれない。一般的な子供もいろんな問題を抱えているがそれに加えて”言葉”の問題が附加されているのであるが 教室や遊びの場で廻りが話していることがわからない子供の嘆き、悲しみは到底理解できないとつくづく考えさせられた。

各々講座の後半は3～4人のグループでのワークショップがあった。演習をするなかで実際に子供を支援している人の話が聞けたのも有意義であった。基本は子どもと良好な関係を築くことがなにより大切であることを聞かされた。

支援の手法的なこと当然重要であり講座の中で説明があった。

1) 直接支援・・・日本語そのものを教えること。



## 2) 間接支援・・・自分で学習する力を高める自律支援 学習への動機付ける等の情意支援

直接支援では

- 1) 理解支援・・・言い換える、視覚化する、例示する、対比させる、補足する等々
- 2) 表現支援・・・選択肢を示す、表現方法を示す、モデルを示す、母語で表現させる等々

〔文部省 JSL カリキュラム中学編より〕

考えれば考えるほど難しい。現在言われている教育現場の問題に加えて言葉の問題を持つ子に本当に支援できるのか？ 母語もまだ習得途中、アイデンティティがまだ確立されていない、言葉も十分通じない子どもに役立つにはどうすればいいか？自分になにかできることがあるか？

しかしながら、私たちの近くに外国から来て『学校へ行くのがいやになった』『なにを言っているのかわからない』『しゃべりたいけどしゃべれない』と学校へ行くのがいやになったとつまずいている子がいるのは事実である。なんとかこの国でがんばっていこうと思っている子の話し相手になり、分からない事を一緒に考え その子らの”やさしいおじいさん”になればといいのかもしれない。自分でなにができるかまず一歩踏み出すために講習後 支援申し込みをして帰宅した。

### 【にほんごひろば岡本2012年度 第2回研修セミナー】

2013年3月9日 兵庫県国際交流協会の前日本語教育指導員の酒井滋子先生をお迎えして、「外国につながる子どもたちが健やかに育つ環境づくりのために一ソーシャルワークの視点を加えて一」というテーマでお話をさせていただきました。



日本語ボランティアにおける「子ども支援」については、さまざまな問題があり、暗中模索の状態です。

にほんごひろば岡本においても、まだまだ議論を重ね、子どもたちにとって何ができるか？何をしてあげるべきか？を考えていく必要があるとセミナー出席者の違わぬ感想でした。

なお、セミナーの資料を希望の方は申しつけ下さい。

## 今年も楽しく・ひろばのお楽しみ会！！

2012年12月23日 今年もたくさんの方に参加していただきました。恒例のスピーチ大会は男性ばかり7名の参加でした。チュさんが「私の夢」で見事、最優秀賞（スピーチの内容は1ページに）を、オウさんは「家族について」で特別賞を受賞しました。他のみなさんも見事な発表でした。アジアで起こった民主化運動についてや日本人への苦言など、留学生ならではのスピーチもありました。今年は是非女性の参加を待っていますよ。

皆さんお待ちかねの食事の後は、お楽しみ会です。司会進行はフレッシュな学生ボランティア3人組（写真左から森さん、永吉さん、仲島さん）です。

まずは今回初参加の松蔭女子学院大学の聖歌隊の皆さんが清々しい歌声を披露して下さいました。次のパフォーマンスは永吉さんのマンドリンと神納さんのベースでクリスマスソングメドレーです。さらに、恒例？のダンスタイム。ナルモンさんの見事なタイダンス。衣装を借りて飛び入り参加の怪しげな人たち、最後は皆で輪になって何ダンスか分かりませんが、手振り身振り楽しく踊りました。日本の伝統的なお正月の遊び、独楽回しや羽根付きなどを紹介して、さあ、Kくん初挑戦！昔の少年のSさんがみごとな腕前を見せてくれましたよ。

最後に二人羽織を体験。次回はもっと難しい物を食べさせようかな？

